



ケリー C. クラブ

パートナー

333 South Hope Street
Forty-Third Floor
Los Angeles, CA 90071

T: 213.617.4228
F: 213.443.2766
kcrabb@sheppardmullin.com

業務分野

エンターテインメント
テクノロジー
広告

専門分野

広告
エンターテインメント
スポーツ

学歴

1984 年
コロンビア大学
J.D.取得
コロンビアローレビュー

1973 年
ブリガムヤング大学
広報学部修士取得

1971 年
ブリガムヤング大学
学士取得

言語

日本語

ケリー・クラブ弁護士は、弊所ロサンゼルスオフィスにてメディア、エンターテインメント、テクノロジーグループのパートナーを務める。米国、アジア、欧州を代表する企業のエンターテインメント、スポーツ、メディアと、それに関連する資金、製造、コンテンツ法務などを担当。専門分野は多岐に渡り、映画、テレビ、インターネット、ビデオゲーム、印刷出版、コンテンツ制作、財務、流通、展示、音楽関連業務と音楽関連契約、コマーシャル出演と宣伝、ライブイベント（オリンピックや他の国際スポーツ競技会、コンサート、ステージなど）、コンテンツ権利取得とライセンシング、M&A、共同事業取引、そしてエンターテインメントとパフォーマンス組合に関係する分野など。2005年にサイモン&シュスター社から出版された著書「ムービー・ビジネス」は、世界中の映画界で愛読されている。

クラブ弁護士はオリンピック活動で広く知られており、これまで4度のオリンピックで関連業務を務めてきた。現在は2016年のリオ五輪組織委員会のプロジェクトに参加しており、過去には2012年のロンドン五輪組織委員会の放送協定や2002年のソルトレイク冬季五輪組織委員会のエンターテインメント法務を担当。2008年の北京五輪では、組織委員会の国際弁護士を務めた。同氏がアテネ五輪の体操競技金メダリストをスイス・ローザンヌのスポーツ調停裁判所で弁護したニュースは、2004年のスポーツ関連のトップニュースとなった。他のスポーツ関連の業務としては、中国のNBAやメジャーリーグ野球に関するものがある。

クラブ弁護士はメジャーな映画やテレビ番組の製作者を多数代理（アカデミー賞受賞者ジェラルド・モーレン、数々の賞を受賞した作曲家で音楽プロデューサーのパトリック・レオナルド、子供向け人気番組、「ヨーガバガバ！」の製作者など）。日本、韓国、ロシア、オーストラリアとの国際的エンターテインメント、メディア業務を多数こなし、国際エンターテインメントとメディア業界において広く知られている。

クラブ弁護士は世界の著名人を多数代理した経験を持ち、過去にはポール・マッカートニーのワールドツアー、デイブ・マシューズの経営管理合意書等の法務、さらに、モハメド・アリの人生を映画化する際の映画化権の交渉、バスケットボールのスーパースター、マイケル・ジョーダン、チャールズ・バークレーの国際法務なども受け持った。2003年のトップニュースであったエリザベス・スマート誘拐事件においては、メディア使用権に関する法務を担当した。

クラブ弁護士は1984年にコロンビア大学法学博士号を取得し、同大学において *Columbia Law Review* の編集者を1982年から1984年まで務めた。1971年にはブリガムヤング大学で学士、1973年には同大学において広報学部修士を取得している。エンターテインメント法、スポーツ法に関するセミナーや著書多数。J. Reuben Clark Law Society のロサンゼルス版では「2005年の優秀弁護士」に選出された。Super Lawyers 誌には2006年から2009年まで、アート・エンターテインメント法における南カリフォルニア地区の「スーパーロイヤー」の一人として選出された。カリフォルニアとニューヨークの両州の弁護士協会のメンバーである。

弁護士登録

カリフォルニア州

ニューヨーク州

受賞暦

南カリフォルニア地区「スーパーロイヤー」2006年～2010年

J. Reuben Clark Law Society のロサンゼルス版、「2005年の優秀弁護士」

経歴

代表案件

- ・エリザベス・スマート氏、2013年ニューヨーク・タイムズ・ベストセラー、「マイ・ストーリー」（クリス・スチュアート共著）の展開と出版代理
- ・ディネッシュ・デソウザ氏、2012年公開ドキュメンタリー映画「2016：オバマのアメリカ」の製作と配給代理
- ・リオ五輪組織委員会の放送権、セレモニーに関する代理
- ・フィリピン TV-5 局のテレビ番組の契約に関する交渉代理
- ・日活株式会社のジョン・ウー監督作品「デイ・オブ・ザ・ビースト」を含む3本の代表映画の企画と製作に関する代理
- ・Row-1 エンターテインメント社の代表映画、ラッセル・クロウ主演の「ブローケンシティ」の資金供給に関する代理

- ・パシフィック・エンターテイメント・ホールディングスによる日本、韓国、中国におけるパラマウント映画テーマパーク開設に関する代理
- ・2012年ロンドン五輪組織委員会の競技放送権に関する契約交渉代理
- ・2008年北京五輪組織委員会の国際弁護士リーダーとして、多くの国際企画や北京五輪の競技放送権をめぐる契約交渉代理と、開会式、閉会式のエンターテイメント関係の契約法務を代理
- ・ウィリアム・モリス・エージェンシーがリアリティー新番組を作成、放送する際の財務に関する代理
- ・国際映画俳優、真田博之の出演映画「47 Ronin (キアヌ・リーブス主演)」、「最終目的地」、「ラッシュアワー3」の役柄契約に関する代理
- ・米国西部の大学競技リーグ、Western Athletic Conference (WAC) の放送権に関する代理
- ・子供人気番組、「ヨーガバガバ!」の製作者の資金、キャラクター商品、放送権に関する代理
- ・カンパリグループが女優・モデルのエヴァ・メンデス、サルマ・ハエック、ジェシカ・アルバを宣伝広告に起用した際の契約代理
- ・日本のエンターテイメント企業、d-rights が人気テレビ番組「サムライチャンプルー」の映画化権獲得をした際の契約代理
- ・レオナルド・ディカプリオがオリックス株式会社と、ユアン・マクレガーがトヨタ自動車と宣伝契約をした際のパーフェクト・マネジメント社の契約代理
- ・韓国、仁川（インチョン）のパラマウント社映画のテーマパークを開設する際の設立、運営権利獲得に関し、ダエウーモーターカンパニーとイーストゲートエンターテイメントを代理
- ・中国のリアリティー番組に関する中国 NBA の代理
- ・中国での特別企画に関する野球メジャーリーグの代理
- ・2002年ソルトレイク冬季五輪組織委員会のエンターテイメント活動に関する代理

無料奉仕活動

- ・自閉症の治療法を研究する慈善団体、マディソンハウスの代理
- ・子供の健康と安全を支援する公共慈善団体、スターライト・スターブライト・チルドレンズ財団法人の日本支部設立に関する代理
- ・発展途上国の子供達の健康と安全を妨げる問題を明るみにする公共慈善団体、インビジブル・チルドレンの代理
- ・非営利会社、ルワンダ・シネマ・センターが映画祭を運営し、映画をアフリカの各国で推奨する活動の代理

執筆

クラブ弁護士は多くのエンターテインメント法、スポーツ法に関するセミナーを行うかたわら、多数の記事や、広く読まれている映画ビジネスに関する著書、「ムービー・ビジネス」（2005年5月、サイモン&シュスター社出版）も執筆している。

スピーチ

「北京五輪への道－世界的なスポーツ競技を開催する際の法律とビジネス」、スポーツ弁護士協会年次会議、サンフランシスコ、2008年5月16日

「スポーツ調停裁判所における国際スポーツ競技の論争解決」シンガポール弁護士協会、シンガポール、2008年4月30日

「スポーツ法の概説」国際 Lex Mundi 会議、北京、2008年4月24日

「オリンピック競技の放送について－北京五輪の議論点と見解」アジア太平洋放送連合、イスタンブール、2008年4月17日

「北京五輪を代理して学んだこと」ロンドン五輪組織委員会、ロンドン、2008年4月15日

「世界的スポーツ競技を開催する際の法的準備点」グラスゴー2014組織委員会、ロンドン、2008年4月14日

「オリンピックのビジネスについて－弁護士の役割」カリフォルニア大学ロサンゼルス校ロースクール、ロサンゼルス、2008年4月8日

「北京五輪を代理して学んだビジネスと法務－世界的イベントから学ぶ」デジタルコースト討論会、ロサンゼルス、2008年4月3日

「北京五輪－中国でのエンターテインメント取引の新しい時代の幕開け：北京五輪組織委員会の見解」南カリフォルニア大学、IPインスティテュート、ビバリーヒルズ、2008年3月18日

「発展への道に関する見解－北京五輪の影響」ハーバード・アジア・ビジネス会議、マサチューセッツ州ケンブリッジ、2008年3月8日

「オリンピックのビジネスについて－弁護士の役割」南カリフォルニア大学グールド・ロースクール、ロサンゼルス、2008年2月13日

「ハリウッドスタイルの映画資金供給を日本で行うには」シティバンク・プリンシパル・インベストメント、東京、2008年1月22日

「オリンピックのビジネスについて－オリンピック競技が利益を生み出す方法」モリソン・フォースター経済法務セミナー、ロサンゼルス、2008年1月10日

「ムービー・ビジネス」ユタ州立大学ロースクール、ソルトレイク、2007年11月27日

「テレビ番組のインターネット著作権侵害」 CCTV、ロサンゼルス、2007 年 11 月 17 日

「オリンピックのエンターテインメントプログラムと使用权」 北京五輪組織委員会、北京、2007 年 10 月 23 日

「オリンピック開催都市の責任」 IBA 国際会議、シンガポール、2007 年 10 月 15 日

「ムービー・ビジネス」 チャップマン・ロースクール、カリフォルニア州アナハイム、2007 年 8 月 30 日

「道徳と倫理的なリーダーシップ」 BYU マネジメント協会、カリフォルニア州オンタリオ、2007 年 5 月 19 日

「世界的スポーツ競技会におけるアンブッシュ・マーケティング」 スポーツ・法律協定会、北京、2007 年 4 月 26 日

「映画の資金調達に関する 3 つのリスク」 ペパーダイン・ロースクール、カリフォルニア州マリブ、2007 年 1 月 10 日

「オリンピックに向けての準備ー北京五輪組織委員会での経験から」 ロンドン、2006 年 6 月 6 日

「法務の経験」 J・ルビン・クラーク法律協会、ロサンゼルス、2006 年 2 月 15 日

「権利クリアランスの手順」 フランクリン・コービー、ソルトレイク、2006 年 1 月 25 日

「エンタテインメント業界における弁護士の役割」 日本貿易セミナー、福岡、2005 年 8 月 20 日

「オリンピック開催の法務的な準備」 ASPE 会議：アジアのビジネスとスポーツ法、シンガポール、2005 年 7 月 5 日

「オリンピック選手を保護する方法ーポール・ハム事例の教訓とオリンピック選手の権利法」 スポーツ弁護士会、アリゾナ州フェニックス、2005 年 5 月 20 日

「日本メディアセミナー」 東京国際映画祭、福岡、2004 年 10 月 24 日、東京、2004 年 10 月 27 日

「オリンピックへの準備」 バンクーバー五輪組織委員会、バンクーバー、2004 年 5 月 12 日

「メディアと法律セミナー」 韓国 IT 業界プロモーションエージェンシー、ロサンゼルス、2003 年 12 月 2 日

「北京五輪が中国でのビジネスに与える影響」 北カリフォルニアテクノロジー審議会、バージニア州タイソンスコーナー、2003 年 11 月 14 日

「メディアと法律セミナー」、フジテレビ、ロサンゼルス、2003 年 11 月 3 日

「メディアと法律ー概要」 ブリガムヤング大学、ユタ州プロボ、2003 年 9 月 23 日

「グローバルなコンテンツサーチー日本の映画、テレビ番組、ビデオゲームの権利輸入」 JETRO、ロサンゼルス、2003 年 5 月 27 日

「世界的スポーツ競技会におけるアンブッシュ・マーケティング」 コダック（中国）、北京、2003 年 5 月 21 日

「グローバルなコンテンツサーチー海外の映画、テレビ番組、ビデオゲーム権利を輸入する」 ビバリーヒルズ、2003 年 3 月 27 日

「中国におけるオリンピック知的財産権の保護」 三菱総合研究所、東京、2003 年 2 月 24 日

（日本語講演） 「日本と米国間のエンターテイメント法務について」 日経 BP エンターテイメントセミナー、東京、2002 年 4 月 12 日

「エンターテイメントプロダクションの選び方」 ビバリーヒルズ協会、ビバリーヒルズ、2002 年 3 月 20 日

（日本語講演） 「米国エンターテイメント法に関する 5 つのトピックス」 京都大学エンターテイメント法会議、東京、1998 年 12 月 2 日、大阪、1998 年 12 月 4 日

「エンターテイメント財産の証券化」 ビバリーヒルズ協会、ビバリーヒルズ、1998 年 3 月 15 日

「国際法務の経験から」 スタンフォード大学、カリフォルニア州パロアルト、1996 年 12 月 2 日

「映画業界におけるアジアへの投資」 ビバリーヒルズ弁護士協会、1994 年 3 月 10 日